

## 平成20年度後期授業評価アンケート結果報告

### 1. 趣旨

極域科学専攻が開講している授業科目の優れた点、問題点、改善すべき事項等について、学生の意見や意識を把握し、カリキュラムや授業方法等の教育課程の改善に資するため、授業評価アンケートを実施する。

### 2. アンケート実施方法

極域科学専攻生にアンケート用紙を個別配布（pdfで配布）し、電子データで回収。

### 3. 回答率等

- 1) 後期開講科目数 14 科目（ただし極域科学特別研究、極域科学特別演習は除く）
- 2) 履修者数 11名
- 3) 期待回答数 22名
- 4) 回答数 15件
- 5) 回答率 68.1% （回答数（15）／期待回答数（22））×100

### 4. 集計結果と個別分析

評価基準は各項目共通で次のとおり

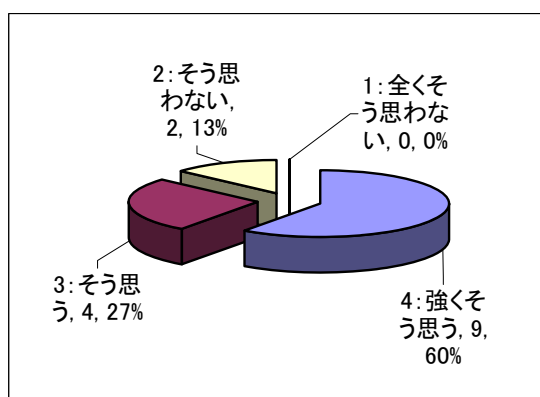
4：強く思う 3：そう思う 2：そう思わない 1：全くそう思わない

なお、無回答及び該当無しという回答については、集計の対象からは除外した。

コメントは回答結果をもとに事務局が原案を作成し、専攻長が校閲した。

問1. 授業内容はシラバスと対応していましたか。

4：9件 3：4件 2：2件 1：0件 【平均 3.47】

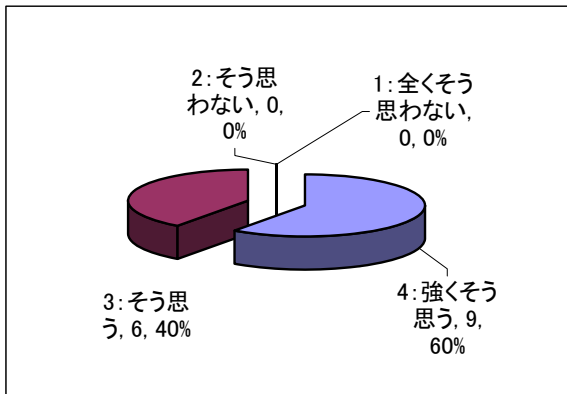


(コメント)

4と3をあわせて13件、87.0%であった。授業内容はシラバスとほとんど対応しており、シラバスの内容も周知できていると考えられる。

問2. 授業の難易度は適切でしたか。

4 : 9件 3 : 6件 2 : 0件 1 : 0件 【平均 3.60】

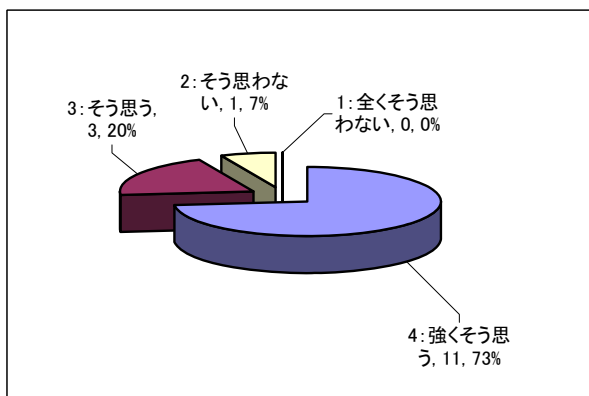


(コメント)

4と3をあわせて15件、100%であった。授業の難易度は適切だったと考えられる。

問3. 授業により知的な刺激を受け、さらに関連する分野を学んでみたいと思いましたか。

4 : 11件 3 : 3件 2 : 1件 1 : 0件 【平均 3.67】

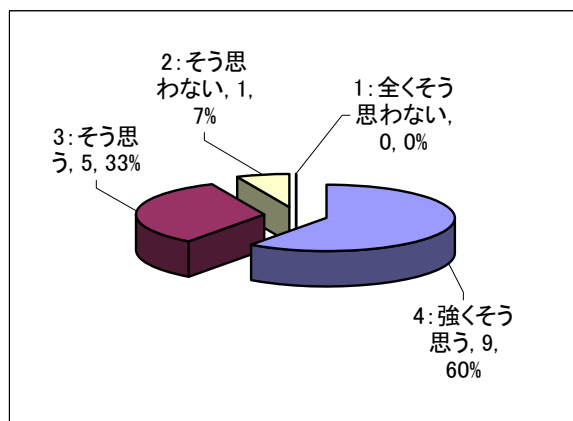


(コメント)

4と3をあわせて14件、93%であった。十分に知的な刺激を受ける内容であったと考えられる。

問4. 視聴覚・情報機器等を使用する授業において、その使い方は効果的でしたか。

4 : 9件 3 : 5件 2 : 1件 1 : 0件 【平均 3.53】

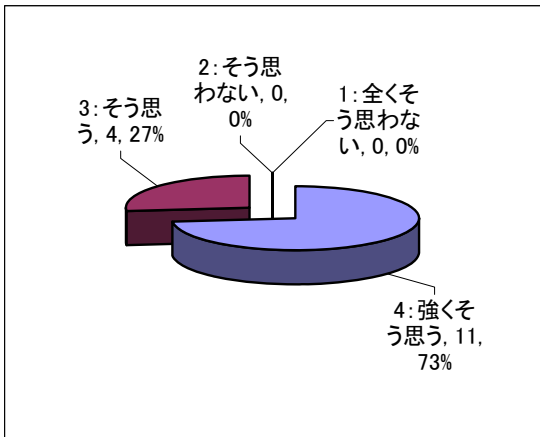


(コメント)

4と3をあわせて14件、93.0%であり、効果的だったと考えられる。

問5. テキストやプリントなどの教材は授業内容を理解するのに役立ちましたか。

4 : 11件 3 : 4件 2 : 0件 1 : 0件 【平均 3.73】

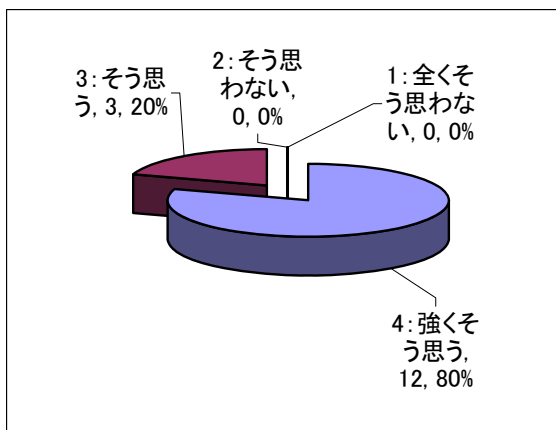


(コメント)

4と3をあわせて15件、100%であり、効果的だったと受け取られている。

問6. ノートやメモは取りやすかったですか。

4 : 12件 3 : 3件 2 : 0件 1 : 0件 【平均 3.80】

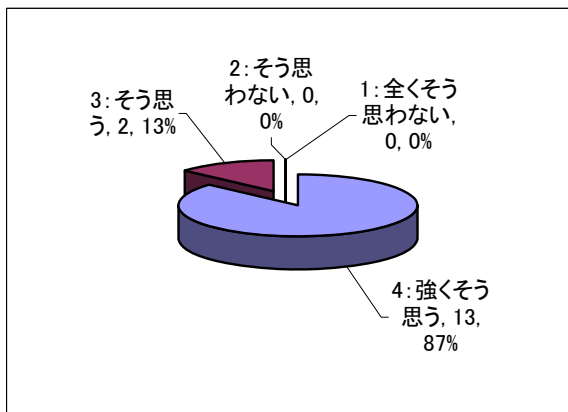


(コメント)

4と3をあわせて15件、100%であり、例年よりも平均の値が高く、効果的だったと考えられる。

問7. 教員の声、話し方は聞き取りやすかったですか。

4 : 13件 3 : 2件 2 : 0件 1 : 0件 【平均 3.87】

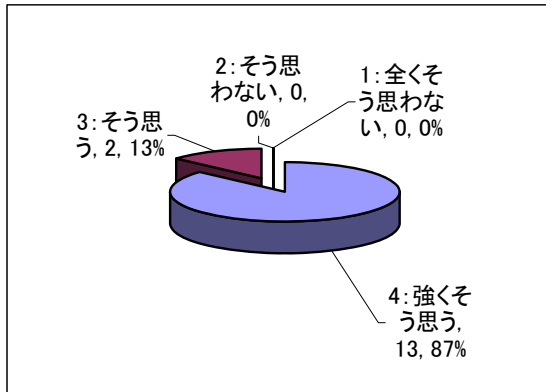


(コメント)

4と3をあわせて15件、100%であり、十分聞き取りやすかったと思われる。

問8. 重要な箇所が強調されるなど、授業の説明はわかりやすかったですか。

4 : 13件 3 : 2件 2 : 0件 1 : 0件 【平均 3.87】

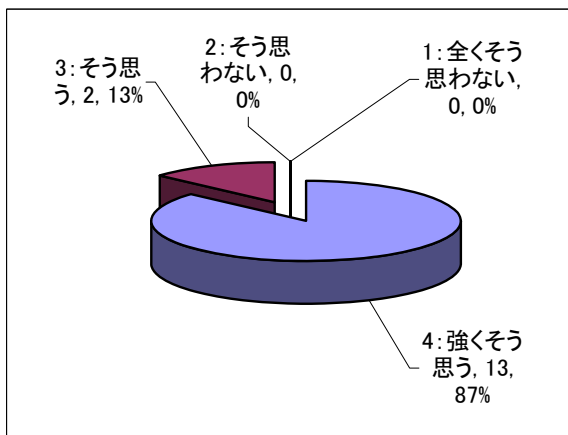


(コメント)

4と3をあわせて15件、100%であり、説明は十分にわかりやすかったと考えられる。

問9. 教員は学生に授業参加（発言、質問）を促し、質問や討論に十分に対応していましたか。

4 : 13件 3 : 2件 2 : 0件 1 : 0件 【平均 3.87】

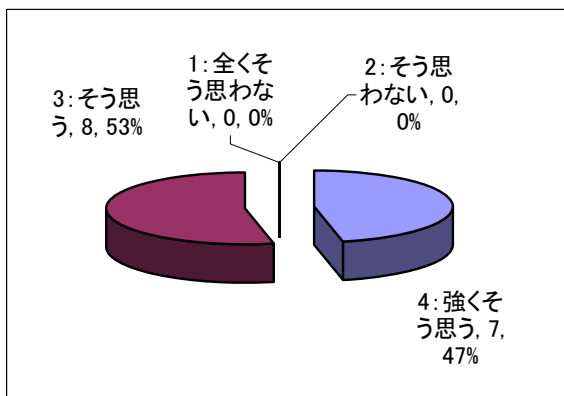


(コメント)

4と3をあわせて15件、100%であり、十分に対応していたと考えられる。

問10. 授業の進度は適切でしたか。

4 : 7件 3 : 8件 2 : 0件 1 : 0件 【平均 3.47】

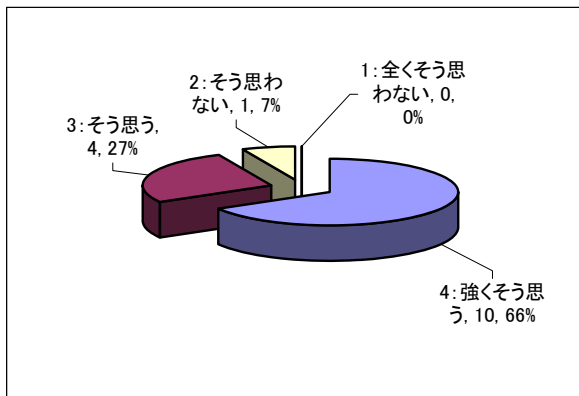


(コメント)

4と3をあわせて15件、100%であり、進度は、適切だったと考えられる。

問11. 授業に対する教員の熱意を感じましたか。

4 : 10件 3 : 4件 2 : 1件 1 : 0件 【平均 3.60】

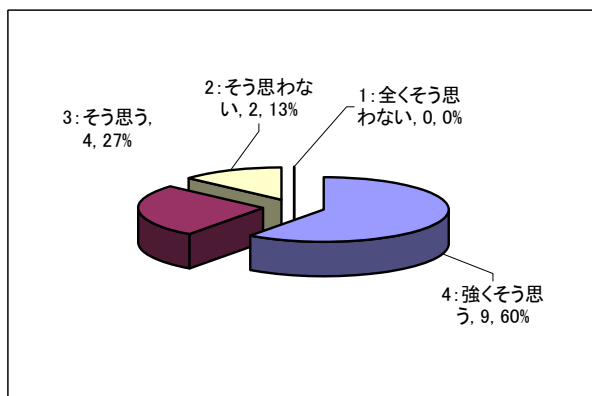


(コメント)

4と3をあわせて14件、93%であり、十分に熱意が感じられたと受け取られている。

問12. 総合的に判断して、この授業に満足しましたか。

4 : 9件 3 : 4件 2 : 2件 1 : 0件 【平均 3.47】



(コメント)

今回のアンケート中、平均が最低の数値になっている。H19年度後期が3.65、H20年度前期が3.78であるため、それらと比べても授業への満足度が減少していることが分かる。

しかし、4と3をあわせて13件、87%であり、授業に満足していると思われる。

問13. この授業で良かった点、また改善すべき点、その他特記事項があれば、記入してください。

回答数 10件

- ・極域科学専攻は専攻内でも様々な分野が研究されているので、他の分野について学べる機会でもとても良い。
- ・授業時間の割には内容量が多く、ついていくのが大変だったが、多くの刺激を受けて興味が持てたのでとても有意義な授業だった。
- ・極域で行われている最先端の科学研究を多様なテーマにより触れることができ、大変興味深く、さらなる探求心を刺激された。
- ・実際に使うソフトなどを勉強出来て良かった。
- ・パワーポイントの使い方が良くて判りやすかった。
- ・前期に「英語によるプレゼンテーション1」という授業があったので、その続きだと思って履修申請していたのだが、どうやら後期入学の学生のために開いている授業だったらしく、前期と殆ど同じ内容だったので正直残念だった。同じ内容であればその旨を明記して欲しかった。シラバスの内容だけでは判断出来ない。教官によっては事前に履修している学生の名簿を確認して授業内容を変えてくれていたが、全くその配慮の無い先生が多く驚いた。また、教官によって教える手法や内容が全く違ったものだったので、もう少し担当教官同士で相談して授業を作って欲しい。それが出来ないのであれば各専攻で1人の教官に授業を任せべきだと思う。
- ・前半と後半で違う専攻の教官が担当していたが、他専攻の教官の授業は判りにくかった。極地研の教官は一般的な話をしてくれたが、情報研の教官は専門の内容が多かったため、理解は出来たが興味があまり持てなかった。もう少し一般的な話をして欲しかった。例えばバイナリデータとアスキーデータの違いや、連続データをコンピューター内でどのように処理しているかなど、プログラムの話になってしまうが、そういった話も必要だと思う。
- ・専門分野に関する内容だけでなく、教員側から他研究分野の学生の研究に対し積極的に指導・提案をいただけたので、総合評価として有意義な授業を受けることができた。
- ・極域の氷床について、一つ一つわかりやすく説明をしていただきました。氷床コアと気候、気象との関係等、示唆に富む内容で大変興味深く自分の研究にも大いに参考になったと思います。
- ・5人の先生方が、それぞれの専門分野から基礎的な考え方をお話していただきました。研究をおこなうに際して、広い視野・角度から見る目をもつことは常に心がけることと思います。その意味でも、大切な授業であったと考えます。

#### 4. 平成20年度後期授業評価アンケートのまとめ

##### (1) 授業内容について (問1～問3)

問2及び問3については、4及び3の肯定的な評価が90%を越える結果となり、極めて良い結果だと考えられる。

問1については、2の回答が2件あり、毎年シラバスを工夫して作成する必要があることが分かる。

##### (2) 授業方法について (問4～問11)

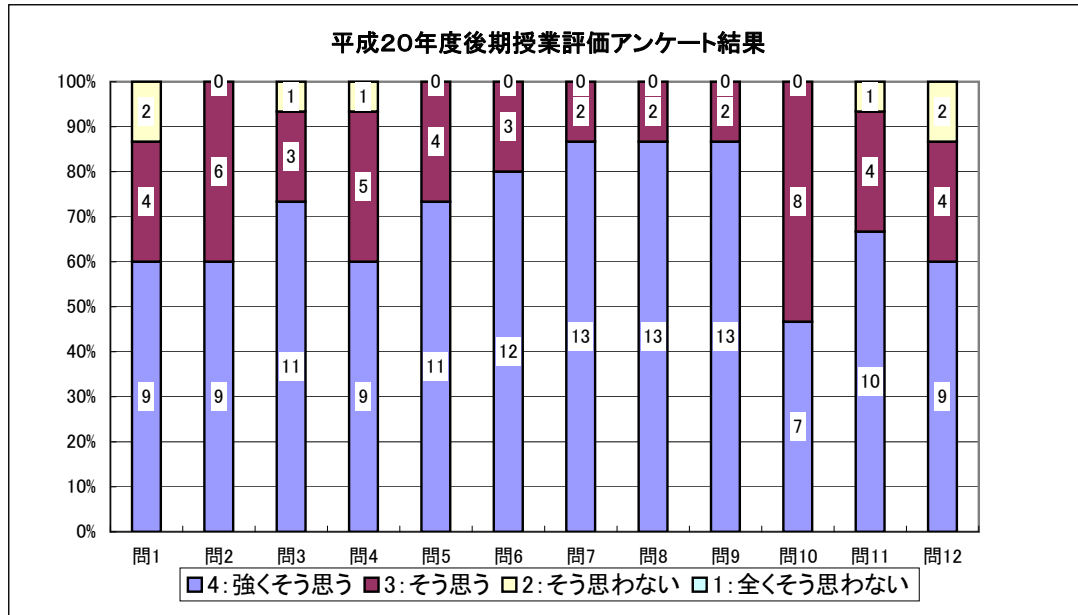
いずれの項目においても前期分より4及び3の肯定的な評価が90%を越える結果となり、極めて良い結果だと考えられる。

(3) 総合評価（問12～問13）

問12の4及び3の肯定的な評価をあわせると87%で、十分に満足できる授業を提供できたと考えられる。

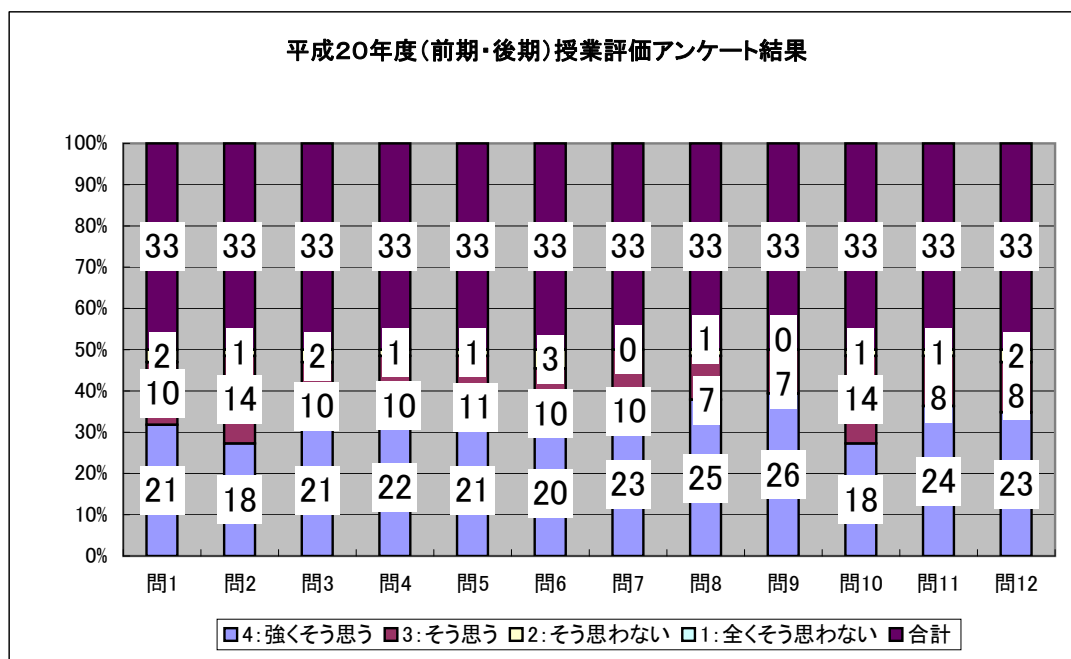
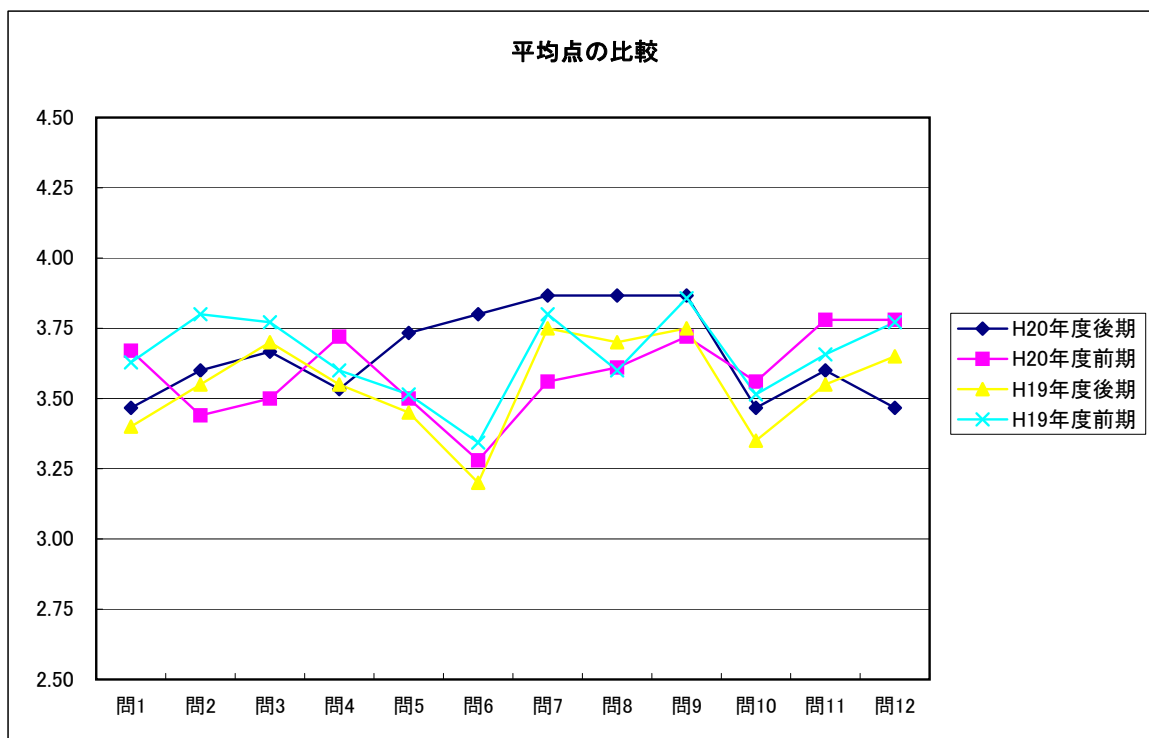
問13については、2件を除き、肯定的かつ好意的な意見であった。

「英語によるプレゼンテーション」についての否定的な意見については、シラバスへの記載や履修登録時にチェックすることで対応することにする。



(4)まとめ

前期と比較して、全体的に大きな変化は見られないが、問4～問11の授業方法については特に平均点が高くなった点が良い結果と考えられる。



5. 今後の対応

平成21年度においても同様のアンケートを行い、年度ごとの比較を行っていく予定。  
 今回の調査結果については、専攻委員会及び学生へ回付し、極域科学専攻HPに掲載する。